



「情報の扱い」

独立行政法人国立成育医療研究センター アレルギー科

二村昌樹先生

こちらに寄稿させていただいてから約1年が経過しました。アレルギーに関することを中心にいろいろと書かせていただきましたが、いかがでしたでしょうか？今回がアレルギー情報見聞録の最終回となります。

この1年間にも実に多くの情報が皆さんの耳に（目に）入ったことと思います。全国や世界のニュース以外にも、近所のうわさ話、学校からの情報など発信源もさまざまです。その内容も政治情勢、健康、お金に関することなど多岐にわたっているでしょうが、皆さんはこれらの情報をどのように扱っていますか？全ての情報を100%信じているわけでもないでしょう。

アレルギーに関する情報も、世の中に多くあふれています。「あの薬がアトピーに効くらしい」「こうすると食物アレルギーが治る」など正しい情報もあれば誤った情報もあります。これらの中から、それぞれの情報の正しさを自分自身で判断しなくてははいけません。ここで私が皆さんにお勧めするのは、情報をいろいろな方向から確認することです。たとえばテレビから得た情報をインターネットや他の人に確認してみたりするのです。きっと一方向からだけでは分からなかった真実が見えてくると思います。

また得られる情報の数は10年、20年前と比べても明らかに増えていますし、情報を得る手段もパソコン、携帯電話、スマートフォンなど昔よりも多くなっています。しかし情報が多いということは良いことばかりではありません。確かに判断する材料は増えますが、必ずしも情報が多ければ判断が楽になるというものでもありません。情報が多いほど余計に迷ってしまいます。「人生は常に迷うもの」といった人がいますが、確かに迷うことで人は前に進み成長します。しかしこの迷いを悪用する人がいることも忘れてはいけません。（人が不安に思っているところはビジネスになるそうです。）

現在皆さんは、多くの情報の中で何か判断に困っていませんか。もし迷っているなら、安易に結論を出さずに十分に悩んで結論を導いてください。その際に情報の真偽や発信源にも注目して悩んでください。なかなか結論が出ない場合には、逆にもっと多くの情報も取り入れて判断するのもよいでしょう。最終的には、自分の都合のよい結論を選ぶことが多いというのが人間の心理らしいですが…。

-----

2、東日本大震災に対する支援活動のご報告 ～東北事務局より～

-----

8月28日に大船渡で東北復興支援熱気球体験搭乗会のイベントに協力参加しました。このイベントは、大船渡市の友好都市である佐久市と熱気球運営機

構の呼びかけで、「熱気球ホンダグランプリ」を開催している「佐久市：信州コスモス」、「佐賀市：佐賀錦」、「鈴鹿市：ベルディ2号」、特別協賛している「本田技研工業：ASIMO」、東京の「バルーングループ風まかせ：キュウ丸」、地球の映像をそのまま熱気球に再現した「ワンダーグローブ号」の6機の気球が全国から参加し開催されたものです。

当日は、天候にも恵まれ、350人の子どもたちなどが気球に乗り、真っ青な空を見上げて元気になる一日となりました。

イベントでは、アレルギー支援ネットワークの活動や防災セット等に関するパネル紹介・アレルギー対応のお菓子の試食会を行いました。アレルギーの子や家族も参加し、ぜん息に備える話など安否確認登録にも話が広がり、「保育園から貰った。登録します。」などと皆さんとたくさんの話題についてお話ししました。

また、愛知学院から駆けつけてくれた18人の学生たちに受付などの応援をしてもらい、配布したアレルギー用のお菓子なども好評で、用意したクッキーは全てその場で食べていただきました。

9月に入ってからは、陸前高田で、活動を再開した子育て支援センターの交流会に参加してきました。今回は、スタッフを入れて10人程度の参加でしたが、その中に、卵アレルギーの子が一人とぜん息のお子さんがある方2家族が参加していました。そのお母さん2人も（スタッフの方も）ぜん息を持ち、吸入器が津波で流されており、毎日薬を欠かしたことがなく、これから心配という話を伺いました。さっそく手持ちの2台の吸入器をお渡し、大阪西宮から支援物資として届いたばかりのパンとケーキ、クッキーを提供しました。お母さんは「なかなか卵を除去したお菓子が今なくて困ってる」とお話しされ、今回のパンとケーキは卵アレルギーの子も安心して食べ、子どもたちも口の中にいっぱいパンを入れて食べていました。

また、その他には防災セットのチラシの配布活動のため、町や市の役所を訪問しました。公立の保育園へは、市からの配布をしていただき、民間の保育園は名古屋の事務所から直接郵送しています。

これまで、様々な保育園や学校、開業医の先生のところを回ってきていますが、感じたことは、みなさん大変な努力をされているということです。

開業医の先生方の中にはご自身も津波にあわれ、2階の天井まで水につかり、ようやく助かった方もいます。仮設の開業医の先生が多く、しかもぜん息などアレルギーの患者を診ている先生の多くが診療所を流されています。それでも、いち早く地域医療に身を投げ出して寝食を忘れて頑張っておられます。多くのアレルギー患者らがこうした先生方の診療活動で救われています。患者支援も必要ですが、同時にこうした先生方への支援も必要だと痛切に感じ、先生方の本格的な診療所開設にむけた支援に何が必要か、考えているところです。

---

### 3、アレルギーっ子のおいしいレシピ

「さつま芋の白ゆき蒸し」

青木 好子先生

-----  
これからの時期さつま芋が豊富に出回ります。  
子どもたちが大好きなさつま芋。簡単にできるおやつを紹介します。

レシピはこちらから

-----  
4、「肌に優しいシャンプーの選び方」第六回

有限会社 あんだんて 有田浩三さん

-----  
先月まではシャンプーの選定に関する基礎知識に重点をおいてきました。今月から低刺激、天然系、無添加、アミノ酸など選定に関わるキーワードの意味するところを検証して行こうと思います。まず、“低刺激”です。低刺激を謳わないシャンプーはないと思われるくらい広範囲に使用されていますのでその背景をみてみます。

★ 化粧品原料はそもそも低刺激

シャンプーは洗浄成分が主剤ですから配合されている界面活性剤の刺激性が製品を大きく支配します。従って配合されている界面活性剤をみれば大体判断できます。

ただ、数ある界面活性剤のうち低刺激なものが化粧品原料として認可(\*)されていましてのですべて“低刺激”を謳っても間違いではないのが難しいところです。その中でも差はありますので特に刺激が少ないものを慣用的に“低刺激”として使っています。

(\*)現在この制度はありませんが、当時認可されたものが今でも広く使用されています。

★ 刺激の評価

界面活性剤の刺激に関する指標としては、皮膚一次刺激性、皮膚累積刺激性、眼粘膜刺激性、タンパク質変性、細胞毒性、アミノ酸溶出量、皮膚浸透残留性、つっぱり感(洗顔時)などなど10数項目あります。指標によって対象となる界面活性剤の刺激の程度が異なることがあるので数種類の指標をみて総合的に判断する必要があります。これらのデータは、化粧品(化粧品・トイレットリー)化学研究開発誌(フレグランスジャーナル誌)、油化学会誌(油化学)などに載っています。

★ 界面活性剤の低刺激性

上記のデータを整理するとシャンプーの主剤に使用されるアニオン界面活性剤のなかでは、大別して低刺激性の順で、アミノ酸系(メチルタウリンも含む)≧ラウリルリン酸系など≧石けん系≫ラウレス硫酸系≫ラウリル硫酸系となります。

この順序は化粧品技術者の共通の認識だと思えます。

ラウレス硫酸系、ラウリル硫酸系は原料の由来から高級アルコール系界面活性剤ともいわれ市販シャンプーの80~90%に使用されています。ラウ

リル硫酸系に高分子を付加して低刺激化したものがラウレス硫酸系です。これができるからラウリル硫酸系は、段々減り最近では、ほとんど使用されなくなりました。

それだけ低刺激に対する市場のニーズは大きいと言えます。

ラウレス硫酸系を主剤としたシャンプーを“低刺激”ということはないのですが、アミノ酸系アニオン界面活性剤を刺激緩衝成分として配合して“低刺激性”を謳うことはあります。また、両性界面活性剤は低刺激なものが多いのでアニオン界面活性剤に補助的に加えて“低刺激”としている例もあります。なかにはラウレス硫酸系に天然エキスを配合して“低刺激”としている例もあるようですが、これは一寸？と思います。

#### ★ アトピーのための低刺激性

刺激性の評価データは専門書のなかにもあり一般の方が見る機会が少ないのですが、角谷貴斗著「化粧品中身の真相」(中央書院)のなかの p.230「アトピーに優しい界面活性剤の話」にはデータが載っていますので引用します。

皮膚浸透残留性では、アミノ酸系界面活性剤(メチルタウリンも含む)が一番低刺激で次いでラウリルリン酸系など>ラウリル硫酸系>石けん系となっています。

NMF(天然保湿因子)というアミノ酸が洗浄によって溶出するデータでは溶出しない順(低刺激性の順)は、アミノ酸系>ラウリルリン酸系>石けん系となっています。

これらの指標ではアミノ酸系界面活性剤がもっとも適していることがわかります。

石けんは合成界面活性剤より皮膚浸透性が低いといわれますが、この場合の比較対象となっている合成界面活性剤は家庭用洗濯洗剤に使用されるアルキルベンゼンスルホン酸 Na (ABSまたは LAS と略記)のことで脱脂力が強く、シャンプーには配合されません。

シャンプーに配合される界面活性剤の中での比較では上記の傾向です。

ここでは、石けん系はよい評価ではありませんが、他の指標も考慮すると総合的には「★界面活性剤の低刺激性」で書いた順序でよいと思います。

#### ★ “低刺激”の見方

このような状況なので“低刺激”を謳っている場合は、何を以って“低刺激”としているかを見極める必要があります。まずは、洗浄成分の低刺激性で判断するのがよいと思います。なお、保湿成分の高濃度配合はシャンプーの低刺激化に寄与していると考えられますが、直接結びつけて“低刺激”を謳っているものはごく少ないようです。

最終的には、ご自分で使ってみて刺激が少なく使用感もよくて“優しい”と感じる製品がベストです。キーワードとしての“低刺激”はそのような商品に出合う確率を高めてくれるものと理解されるとよいと思います。

---

## 5、東海地域のアレルギーの会のご紹介－昭和区アレルギーの会

---

先月の、名東区に引き続き、昭和区アレルギーの会設立準備会を開催します。先月の南部の会（名古屋市）の交流会に参加された、昭和区在住のお母さん二人とともに設立準備を始めました。

日時：10月21日（金）10:00-12:00

場所：昭和生涯学習センター 和室

見学もご自由にどうぞ。

参加お申し込みは、

アレルギー支援ネットワーク事務局

052-485-5208

または、[info@alle-net.com](mailto:info@alle-net.com)

までお願いします。

設立準備会では、交流会の日程や内容、会場などを今後どのようにするか話し合ったり、参加者の自己紹介をしたり、昭和区内の園や学校、お店などの情報交換を行う予定です。

昭和区にお住まいの方に限らずどなたでもご参加いただけます。

現在、名古屋市内16区のうち、7区で交流会を開催しています。

在住の区の交流会の日程がご都合に合わない場合は、別の区の交流会など、どこの区の交流会に参加していただいても構いません。

アレルギーのことでお困りの方、ひとりで悩まないで、交流会に参加されませんか？

0歳の赤ちゃんから入学前までのお子さまを連れて参加される方が多いですが小学生以上のお子さまのご家族も多く参加しておられます。

どうぞ遠慮なくお子さまを連れてご参加ください。お待ちしております。

---

## 6、第6期アレルギー大学「研究実践報告・実習のご案内」 丹羽つきえ

---

5月から始まりました 第6期アレルギー大学 も10月を迎えいよいよ佳境にはいってまいりました。今月は、10月30日（日）、11月27日（日）に開催されます、研究実践報告・実習についてご案内いたします。

研究実践実習 10/30（日） 会場 名古屋市 昭和生涯学習センター 料理室

\* 講座内容：受講生・修了生・研究者による「主にアレルギー対応の集団給食レシピ」の発表と実習

研究実践報告 11/27 (日) 会場 名古屋工業大学 2号館 1階 F1教室

\* 講座内容：受講生・修了生・研修者・による研究実践報告、記念講演

**研究実践・実習コース**・・・どなたでも受講できます。アレルギーに関するさまざまな立場の方から現場の実践、研究、最新情報などの発表・報告を聞く事ができます。

また、上級修了者は、食物アレルギーマイスターに登録することができます。アレルギーマイスターに登録できる条件は、下記の通りです。

1、 上級修了者であること。

2、 2年以上「研究実践・実習コース」と「特別講座 食品検査と品質の管理」を受講していること。

3、 2回以上の研究実践発表（報告）をしていること。

条件を満たした方には、認定審査を行います。認定審査に合格されると「食物アレルギーマイスター認定証」(認定NPO法人アレルギー支援ネットワーク発行)を発行します。

◎ 食物アレルギーマイスターに合格するとアレルギー支援ネットワークに登録の上、ミニアレルギー大学の開催や講師、各地の「アレルギーの会」サポーターなどとしてご活躍いただきます。

「マイスター」は認定後、5年ごとに更新となります。5年間の活動及び本大学の再受講単位などで再評価いたします。

皆さまも、アレルギーマイスターになってアレルギー対応のプロとして活躍してみませんか？

たくさんのご受講をお待ちしております。

詳細はアレルギー大学ホームページをご覧ください。

<http://alle-sien.net/alle-dai/html/>

---

7、「主婦大生ミラクル☆リカのアレルギーっ子育児奮闘記」

管理栄養士 寺倉里架

---

中学3年生の食物アレルギー児のママであり、2009年の4月から大学院に通う主婦大生？こと寺倉里架と申します。

現在、娘は卵、乳のアレルギーがありますが日々笑顔もモットーに過ごしております。

今月のテーマは

「正しい食物アレルギー情報を収集しよう」

ということで、先日行われました栄養改善学会での食物アレルギーに関する自由集会の際、国立病院機構相模原病院臨床研究センター アレルギー性疾患研究部栄養士の林典子先生が食物アレルギーに関する情報サイトをまとめ

て下さいましたのでこちらでも、以下にご紹介したいと思います。

学会で林先生は、

「インターネット上では情報が氾濫しています。正しい情報収集は大事である」と話されていました。

みなさまもぜひ、参考にしてみてください。

◆ 社団法人 日本アレルギー学会

<http://www.jsaweb.jp/>

◆ 日本小児アレルギー学会

<http://www.iscb.net/JSPACI/>

◆ 公益財団法人 日本アレルギー協会

<http://www.jaanet.org/>

◆ 食物アレルギー研究会

<http://www.foodallergy.jp/>

◆ 独立行政法人 環境再生保全機構

<http://www.erca.go.jp/>

◆ アレルギー遠隔教育学院（映像）

<http://ael.moovii.jp/>

◆ リウマチ・アレルギーシンポジウム事務局

<http://www.immune.jp/>

---

8、「おやじの小耳に挟んだ話題から」第二回 「エピペンの保険適用の報道について」 東海アレルギー連絡会事務局長 足代智志

---

今回の小耳にはさんだ話は、とある日に帰宅して妻と話した最初の話題が「アドレナリン注射（エピネフリン）の保険適用」の新聞記事です。これは多くの方がご存知かなと・・・

私の子供たちも「緊急時のお願いカード」と一緒にしてカバンに入れ、通学していますので、おっ！と思いました。しかし、続けて妻は「今すぐ適用ってわけじゃないんだよねえ・・・。行政手続きが始まるって事らしいから。」

行政手続き？まだまだ先のことじゃないか？なにを先走った報道をしているんだろう？と思ったのですが、まあそこは報道業界の都合なんだろうと勝手に解釈していたのですが、このような報道が出れば近々適用されるのだろ



うと思う人がたくさん出るのではないかとも思いました。私自身が話しを聞いたその時は、そう思ったのですから…。

保険適用してもらえるのは、大変、ありがたい事ですが、いざというときには心強いから「生命保険」や「傷害保険」の代わりにとか、「自宅」と「学校（園）」に置きたいからなどと複数処方してもらおうと安易に考えている方がいらっしやらない事を願います。

使用法を間違えると死亡事故になりかねない「強い薬の注射」であること、本来は医師が使う医療器具であること。処方してもらう私たちも正しい知識と良識を持ってこれから始まろうとしている制度を利用しないと制限や規制が増えて「せっかくの制度が…」といった事になってしまうのではないかと感じた話題でした。

---

## 9、アレルギーの Q&A

---

アレルギー支援ネットワークにアレルギー・アトピー性皮膚炎についての質問が寄せられました。今回この質問には、あいち小児保健医療総合センターアレルギー科の漢戸直之先生にお答えいただきましたので皆様にもご紹介いたします。

Q1：誤食についての質問です。

救命救急において毒物誤飲の際、活性炭の服用をさせ毒物の吸収を阻害させる治療方法があると伺いました。

食物アレルギーを誤食した時、活性炭の服用は有効でしょうか。

A1：一部の食物アレルギー（ピーナッツなど）において活性炭の有効性を示した報告はあるようですが、一般的には、活性炭はアレルギータンパク質のような分子量の大きな有機物の吸着には不向きであると考えられます。実際、誤食時の対応として活性炭投与は推奨されていません。

Q2：アレルギー物質の誤触についての質問です。

蚊に刺された直後、食塩を刺された箇所には置くと浸透圧によりカチの痒み成分が塩に移り痒みが軽減されると聞きました。今回聞いたのは蚊についてですが、この蚊に刺される以外の食物アレルギー即時型反応での皮膚症状に対して、患部に食塩をすりこむことは有効でしょうか。

A2：有効性を示す医学的な根拠はありません。食物アレルギーの患者さんは、アトピー性皮膚炎を合併していることも多く、食塩をすりこむことが刺激となって湿疹が悪化する可能性も考えられるためおすすりません。皮膚誘発症状に対しては、抗ヒスタミン薬の内服が一般的であり、患部を冷却するかゆみが紛れる場合もあります。

---

はじめまして「株式会社 Deto(デト)」です。

この度、アレルギー支援ネットワークの趣旨に同意して賛助会員として入会させていただきました。

当社は、創業以来50年、浄水器など水回りの商品や、環境を守り健康な暮らしを応援する商品を、自然豊かな岐阜の地で作くりつづけてまいりました。

当社の社是は「あなたもよくなれ、わたしもよくなれ、みんなよくなれ」です。

これは全社員が「自分のことだけを考えないで、あなたもみんなも一緒によくなろう」という気持ちを持ち続けるためのものです。単純ですがこの気持ちを広めていけば、明るい世の中にしていく一助になると社員一同信じています。

現在、当社の活水器を販売した会社様から、アトピーでお悩みの方に大変喜んでいただいているなどのお声をいただいております。

また、シックハウス対策として国の認定を受けているエアープロットシステム（ホルムアルデヒドを分解し空気をキレイにするプラチナ光触媒）が好評です。

20年以上販売実績あるロングラン商品として、安心して口にしていだけ、肌や髪に優しい浄水器や浄水シャワーヘッドも自信をもってお勧めいたします。

今後もみなさまのお役に立つ商品をご提案し続けていく所存でございます。

よろしく願いいたします。

株式会社 Deto

岐阜県岐阜市吉野町 6-14 三井生命岐阜駅前ビル7階

TEL:058-212-3211

Email:info@deto.co.jp

<http://www.deto.co.jp>

---

11、10月度「アレルギー児の親の交流会」開催のお知らせ

---

食物アレルギー、アトピー性皮膚炎、ぜん息など、アレルギーを持っているお子さんの事、アレルギーかな？と、お悩みのある方、私たちと一緒にお話をしませんか？

アレルギー児の親の交流会が12ヶ所になりました。

どこの交流会へも参加可能です。

交流会を実施している区外、或いは近郊の市町にお住まいの方の参加やお問合せも多く、ご要望の多いところから順に交流会の開催準備をすすめています。

また、今月から昭和区のアレルギーの会を設立します。参加希望の方はご連絡を下さい。

是非、ご参加下さい。お待ちしております。

10月	5日(水)あま市アレルギーの会	美和公民館	会
議室1			
	6日(木)守山アレルギーの会	守山区社会福	
祉協議会	研修室		
	6日(木)天白アレルギーの会	天白区社会福	
祉協議会			
	12日(水)西尾アレルギーの会	アレツ子元気	総合福祉セン
ター	4階 和室 洗心庵		
	14日(金)アレルギー支援ネットワーク		アレルギー支
援ネットワー	ク 事務所		
ク			
	20日(木)豊橋アレルギーの会		豊橋市総合福
祉センター「あ	いトピア」		
	21日(金)昭和区アレルギーの会		昭和生涯学習
センター			
	22日(土)刈谷アレルギー児の親の会		刈谷市民ボラ
ンティア支援	センター		
	25日(火)緑アレルギーの会	緑区保健所	健
康増進室			
	26日(水)名東区アレルギーの会		名東生涯学習
センター			

日進アレルギーの会は、日程未定です。詳細はお問合せ下さい。

名古屋南部アレルギーの会は、10月は休みです。

【対象】0歳～中学生位までのアレルギー児の保護者

【参加費用】各交流会に確認して下さい。

お申込は電話 052-485-5208 URL<http://www.alle-net.com/>

皆様のご参加をお待ちしております。

---

12、「アレルギーっ子の防災セット」登録についてお知らせ

-----  
アレルギー支援ネットワークは震災を通じ直面した課題克服と今後の災害発生に向けて、「アレルギーっ子の防災セット」の普及活動を行っております。

緊急事態でも迅速かつ的確にアレルギー支援活動を行うための「アレルギーっ子の防災セット」は、「登録シリコンバンド」「緊急連絡カード」「安否確認システム」の3点がセットになっています。

お申込みはアレルギー支援ネットワークのHPから「安否確認システム」に登録することで、1患者につき「登録番号入りシリコンバンド1本」と「緊急連絡カード3枚」が郵送されます。登録対象者は、アレルギー患者本人または保護者の方で、アレルギー支援ネットワークや各患者会などの会員以外の方もOKで、一切費用はかかりません。

また、防災ネットワークの登録など操作が新しくなり、現在も改修作業を行っております。

今回を含め、今後の大きな改修点は、

- 1、登録情報を盗み見させないため、暗号化通信での接続
- 2、登録者自身が登録内容を更新できる
- 3、複数の人（家族）を同じメールアドレスで登録できる。

の3点です。

改修に伴い、暗号化通信を行うことで秘匿性は格段に向上したのですが、携帯電話などの携帯端末をご利用の方には、接続（アクセス）時にご面倒をおかけしています。

具体的には、i-modeやezweb、Y!ケータイなどで接続すると「ルート認証が確認できないため、接続できません」といった警告表示が出て、接続できなくなっています。

これは、暗号化通信で中継してくれるサーバがパソコン用（一部のドコモの機種に対応）の回線にしか対応できていないために発生しています。

これらを避けるため、皆様の登録の際には、「フルブラウザ」「PCサイトビューア」「PCサイトブラウザ」などのパソコン用のホームページ閲覧機能をお使いいただき、「ルート認証が確認できません」と出ても無視して接続してください。

それでも接続できない場合、登録や情報更新の時は、申し訳ありませんがパソコンをご利用してください。

そして、もうひとつお願いがあります。

それは、仮登録をされた後、本登録していただくためのホームページのリンクを仮登録で入力していただいたメールアドレスに送信していますが、迷惑メールフィルターによって受信不能（弾かれる）になっている方がたくさんいらっしゃいます。携帯端末だけではなく、yahooやGmailなどのフリーメール、プロバイダ提供のメールフィルターでも起きています。

お手数をおかけしますが、迷惑メールフィルターの設定を今一度ご確認をお願いいたします。

PCメールの受信（システムからの自動・一斉送信を受信）、なりすましメール（メーリングリストからのメールを受信）の設定をお願いいたします。その際のアドレス（ドメイン）は、@alle-sien.sakura.ne.jp と、@alle-res.com です。

また、すでに登録されている方で、パスワード設定をされていない方（8月末から接続されていない方）は、防災ネットワークのトップページ左下の「パスワードを忘れた方は、こちら」の「こちら」をクリックしていただき、パスワードを設定してください。

新システムからご自身で登録情報の確認や更新ができるようになります。

なお、新システムはまだ改修途中で、登録内容の入力方法の簡素化や医療機関・協力組織との連動性の向上などを進めています。

皆様には、まだご迷惑をおかけするかもしれませんがよろしくお願いいたします。

---

### 13、新教本「食物アレルギーの基礎と対応」のご案内

---

皆さまは、既にお持ちですか。アレルギーに関わる皆様のバイブルとなる「食物アレルギーの基礎と対応」。

本書は、宇理須先生監修の下、アレルギー専門の医師やアレルギー対応給食の現場で活躍されていた専門家の方々に執筆・編集協力をしていただいております。充実した内容になっています。

アレルギー大学を受講されている皆さまはもちろん、アレルギーに携わる仕事をされている方、アレルギーのご家族がいらっしゃる方、アレルギーに関わる皆さまにぜひ、お手元へ置いていただきたい一冊です。

---

### 14、メールマガジン会員募集中！無料です。

---

アレルギー最新情報や地域の会の情報など、「アレルギー」に関する情報満載の「アレルギー支援ネットワーク・メールマガジン」。ただいまご購読会員募集中。ご購読は無料です。みなさんの周りの方にも、ぜひご登録をおすすめください。また「こんなことを取り上げてほしい」「知りたい情報がある」などメールマガジンで取り上げる記事についてのご要望もお待ちしています。あなたの声で、アレルギー対策が一步前進するかもしれません！  
[info@alle-net.com](mailto:info@alle-net.com)までお気軽にどうぞ。

---

### 15、クリック募金にご協力ください

---

アレルギー支援ネットワーク「募金箱」へのご協力をありがとうございます。募金箱とは皆様がインターネット上から簡単に募金ができるサイトです。

ご協賛スポンサー様のバナーをクリックしたり、ご協賛スポンサーサイト様  
でお買い物をしていただくだけで私達の活動を支援するための募金、寄付が  
できる仕組みです。ひきつづき皆様のご協力のご支援、ご協力の程何卒よろ  
しくお願い申し上げます。下記サイトからお願いします。

<http://alle-net.bokinbako.org/0002/?pg=1>

※認定 NPO 法人アレルギー支援ネットワークは寄付金控除対象団体です※  
「giveone」

<http://www.giveone.net/cp/PG/CtrlPage.aspx?ctr=pm&pmk=10108>

「東海ろうきん NPO 寄付システム」

<http://tokai.rokin.or.jp/npo/index.html> を通じても寄付をお願いして  
おります。寄付の方法や支援していただく事業などは、各リンク先をご確認  
ください。また直接の寄付および領収書発行等につきましては、下記事務所  
までお問い合わせください。

-----  
=====

★メールアドレスの変更や、このメールマガジンに関するお問合せは  
[asn-mailmagazine@alle-net.com](mailto:asn-mailmagazine@alle-net.com)(メルマガ編集部)までお願いします。また、  
今後、アレルギー支援ネットワークのメールマガジンを希望されない方は、  
お手数ですが、件名に「配信停止希望」と書いてメールをお送りください。  
(メールマガジン配信準備の都合上、配信停止手続きと行き違いでお届けす  
る場合がございますが、ご了承ください。)

★メルマガの転載について

無断転載・転送を禁じます。アレルギーの会などが活動で使用する場合は、  
メルマガ編集部 [asn-mailmagazine@alle-net.com](mailto:asn-mailmagazine@alle-net.com) までお尋ねください。な  
おメールマガジンのメールアドレスには、返信はできません。ご注意ください  
い。

☆☆☆みなさまからのご質問を募集中！アレルギーや支援ネットワークに  
関することなんでも OK です。ぜひお気軽にどうぞ☆☆☆

-----  
★みなさまからのご要望、お便り、アレルギーについての疑問などお寄せく  
ださい。

発行/編集 認定 NPO 法人アレルギー支援ネットワーク

◇事務局◇

453-0021 愛知県名古屋市中村区松原町 1-24 COMBi 本陣 S103

▽TEL : 052-485-5208

▽E-mail : [info@alle-net.com](mailto:info@alle-net.com)

☆◆-----◆☆